

(学外用資料)

第1期中期計画 進捗状況 (2017～2020年度)

■全体総括

第1期中期計画(2017～2020年度)では、長期ビジョン「2025年までに学生の成長力No.1の教育を実践する大学となる。」及び3つの戦略「学生の成長を支える魅力ある教育・研究の実践」「教職員の活性化」「安定した経営基盤の確立」のもと、「入学定員充足率100%以上」「退学率(1年間)3.0%」「就職率98.0%」の3つを重要目標達成指標(KGI)として設定し、目標数値を達成することが本学の教育成果であることを全構成員が共有し達成に向けて具体的に行動することとした。

3つの重要目標達成指標(KGI)達成度については、大学全体及び各学部により目標値を定め、進捗確認を行ってきた。最終年度である2020年度の評価については、「入学定員充足率」及び「退学率(1年間)」がともにC評価、「就職率」がB評価であった。

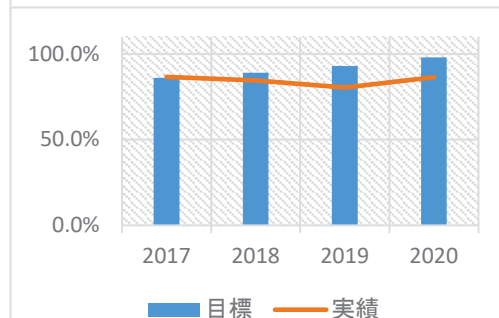
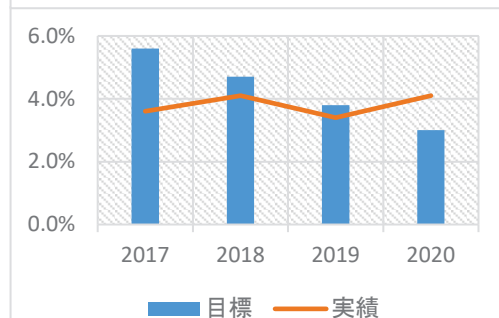
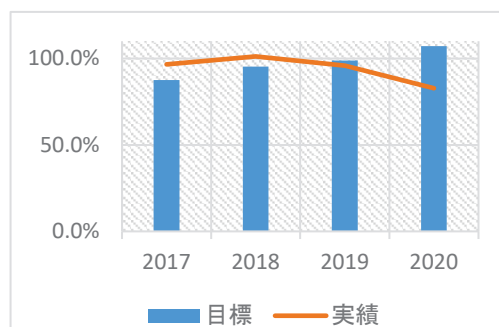
「入学定員充足率」については、以下の項目別総括でも記載のとおり、2017年度の組織改編から実績数値の改善が図られたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実績及び評価ともに下降した。「入学定員充足率」に関する指標については、第2期中期計画において「収容定員充足率100%以上」として重要目標達成指標に組み込まれており継続的な取り組みが必要である。

「退学率」については、「入学定員充足率」と同様に新型コロナウイルス感染症の影響により入国困難となった留学生の退学及び薬学部1年次生留年・退学率悪化により評価が下降した。「退学率」に関する指標については、第2期中期計画における重点項目「教育改革」の重要業績評価指標(KPI)として改善に向けた目標値が定められていることから継続的な取り組みが必要である。

「就職率」については、2020年度評価の対象が薬学部を除く3学部が組織改編後第1期生の評価であることから、教育活動全般を含めた精査が必要である。「退学率」と同様に第2期中期計画における重要項目「学生支援」の重要業績評価指標として目標が定められていることから、改善・向上に向けて継続した取り組みが必要である。

■重要目標達成指標 項目別総括【大学全体】

項目	年度	目標	実績	達成率	評価	総括
入学定員充足率	2017	87.5%	96.6%	110.4%	A	改組直後の2017年度及び2018年度において、A評価(達成度100%以上)であった。2019年度においてもB評価(達成度80%～100%未満)と、高い達成度で推移していたが、2020年度は、新型コロナウイルス感染症等の影響もあり、達成度77.3% C評価となった。
	2018	95.4%	101.2%	106.1%	A	
	2019	98.9%	95.9%	96.9%	B	
	2020	107.1%	82.8%	77.3%	C	
退学率(1年間)	2017	5.6%	3.6%	155.6%	A	2017・2018・2019年度において、当初の目標を達成することができA評価となった。2020年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、入国することができなかった留学生が退学に至ったこと、また薬学部1年次生の留年者数の増加が退学者数の増加となり、大学全体の実績としては退学率4.1%、評価がC(達成度60～80%未満)となった。
	2018	4.7%	4.1%	114.6%	A	
	2019	3.8%	3.4%	111.7%	A	
	2020	3.0%	4.1%	73.1%	C	
就職率	2017	86.1%	86.6%	100.6%	A	2017年度がA評価であったが、2018年度以降は全てB評価であった。「就職率」の数値改善にあたっては、薬学部及び医療保健学部における国家試験結果が大きく影響していることもあり、進路支援活動と併せて教育活動の検証・改善が必要である。
	2018	89.1%	84.5%	94.8%	B	
	2019	93.0%	80.4%	86.4%	B	
	2020	98.0%	86.5%	88.3%	B	



□重点項目 1. 教育改革

■全体総括

第1期中期計画開始の2017年度からKPI達成に向けて、行動計画に基づき教育改革を推進し、実績を積み重ねてきた。学部の特性の違い等により、「全学リメディアル教育の導入と充実化」については、検討は行ったものの実施に至らずC評価となったが、最終年度の行動目標の進捗度は、計画の9割以上が80%以上の進捗状況であることから、教育改革は滞りなく実施していると評価できる。

他方、重要業績評価指標(KPI)については、最終年度のC評価以上の達成度が7割にとどまっており、第2期中期計画においても継続的な取り組みが必要ではあるものの、一定の成果を認めることができた。

第2期中期計画における教育改革の基本方針として、「学修者本位の教育への質的転換を目指す」を掲げていることを踏まえ、KPIの達成に向けた組織的な取り組みを継続・促進する。

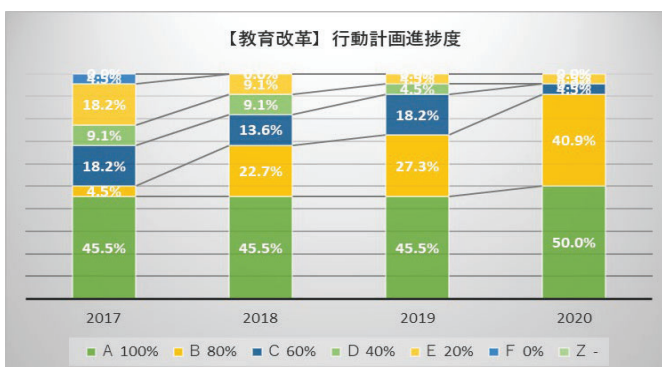
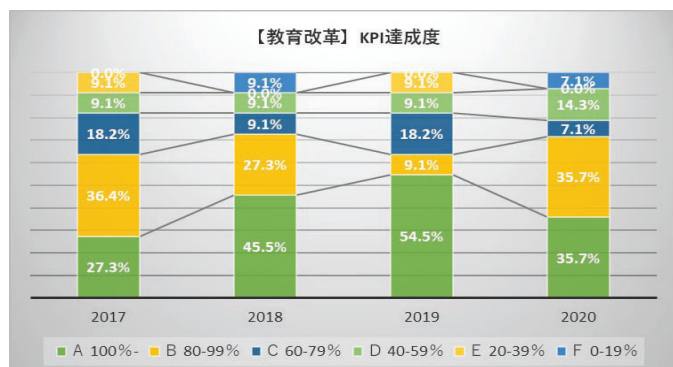
■第1期中期計画 重要業績評価指標(KPI) 進捗状況

No.	重点項目	KPI数	評価 年度	A	B	C	D	E	F	C以上の 達成度	概要
				100%-	80-99%	60-79%	40-59%	20-39%	0-19%		
1	教育改革	14	2017	3	4	2	1	1	0	9	C評価以上の達成度が8割であるが、E評価が1件あった。
				27.3%	36.4%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	81.8%	
			2018	5	3	1	1	0	1	9	C評価以上の達成度が8割であるが、F評価が1件あった。
				45.5%	27.3%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	81.8%	
			2019	6	1	2	1	1	0	9	C評価以上の達成度が8割であるが、E評価が1件あった。
				54.5%	9.1%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	81.8%	
			2020	5	5	1	2	0	1	11	C評価以上の達成度が7割であるが、F評価が1件あった。
				35.7%	35.7%	7.1%	14.3%	0.0%	7.1%	78.6%	

※教育改革KPI14項目の内、3項目(医療保健学部国家試験関係)については、2020年度から評価対象

■第1期中期計画 行動計画進捗状況

No.	重点項目	行動計画数	評価 年度	A	B	C	D	E	F	Z	60%以上 の進捗度 の比率	概要
				100% 第5段階	80% 第4段階	60% 第3段階	40% 第2段階	20% 第1段階	0% -	-	-	
1	教育改革	22	2017	10	1	4	2	4	1	0	15	進捗度が100%を超えた計画が約半数であったが、進捗度0%の計画が1件あった。
				45.5%	4.5%	18.2%	9.1%	18.2%	4.5%	0.0%	68.2%	
			2018	10	5	3	2	2	0	0	18	計画の8割以上が60%以上の進捗状況であった。
				45.5%	22.7%	13.6%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	81.8%	
			2019	10	6	4	1	1	0	0	20	計画の9割以上が60%以上の進捗状況であった。
				45.5%	27.3%	18.2%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	90.9%	
			2020	11	9	1	0	1	0	0	21	進捗度が100%を超えた計画が半数であったが、進捗度20%の計画が1件あった。
				50.0%	40.9%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	95.5%	



□重点項目 2. 学生支援

■全体総括

学部改組等による段階的な学生数増加の時期に合わせるように2019年度後半からコロナ禍が起こり、2020年度は、大学生生活(学修、課外活動、就職活動等)に大きな影響が生じた。学生、教職員に急速なICTに対する対応が求められ、オンラインを使った授業やガイダンス、各種説明会が当然ようになった。併せて、WEB環境や3密にならないような環境整備を平行して整えた。課外活動についても2017～2019年度にかけて順調に実績を積み重ねてきたが、2020年度の活動制限により、評価が伸びなかった。

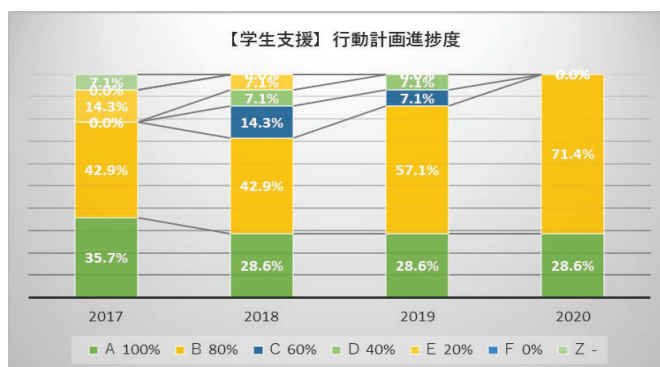
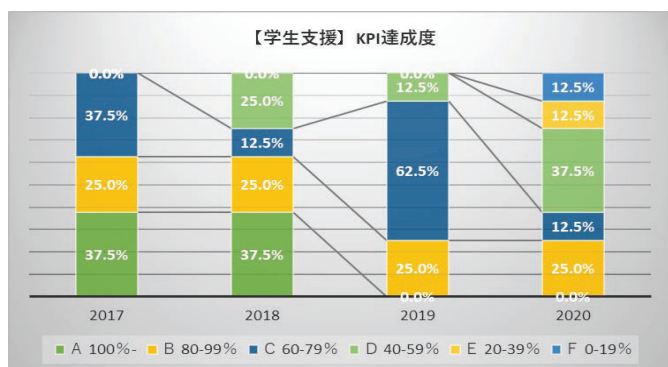
学生支援について計画通り実行できない部分も多くあったが、奨学金制度の改正やコロナ禍に対応した本学独自の経済支援制度の導入、学生のメンタルフォローのための相談体制の整備など、急激な環境変化に対応し、学生に対して、できる限りの支援を行うことができた。2017年度は、全ての項目においてC評価以上を達成した。最終年度となった2020年度は、大学自体も学生も自粛により種々の活動が制限されたため、C以上の評価が3つ(37.5%)に減少したが、当初想定しなかった新型コロナウイルス感染症の蔓延により、評価指標にはない緊急支援が必要となり、「経済支援(奨学金給付)」「メンタル相談」「WEB進路支援」「WEB企業説明会」などを実施した。その結果、学生満足度において最終年度もB評価を得たことは、学生支援体制が危機対応時(緊急時)においても十分に機能していることを示しており、第1期中期計画の指標との乖離はあるが学生支援の本来的な目的は概ね達成したと評価している。

■第1期中期計画 重要業績評価指標(KPI) 進捗状況

No.	重点項目	KPI数	評価 年度	A	B	C	D	E	F	C以上の 達成度	概要
				100%-	80-99%	60-79%	40-59%	20-39%	0-19%		
2	学生支援	8	2017	3	2	3	0	0	0	8	全ての項目がC評価以上の達成であった。
				37.5%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
			2018	3	2	1	2	0	0	6	C評価以上の達成度が7割であるが、D評価が2件となった。
				37.5%	25.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	
			2019	0	2	5	1	0	0	7	C評価以上の達成度が8割であった。
				0.0%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%	87.5%	
			2020	0	2	1	3	1	1	3	C評価以上が3割、D評価が3件、E・F評価が各1件あった。
				0.0%	25.0%	12.5%	37.5%	12.5%	12.5%	37.5%	

■第1期中期計画 行動計画進捗状況

No.	重点項目	行動計画数	評価 年度	A	B	C	D	E	F	Z	60%以上の進捗度の比率	概要
				100% 第5段階	80% 第4段階	60% 第3段階	40% 第2段階	20% 第1段階	0% -	-	-	
2	学生支援	14	2017	5	6	0	0	2	0	1	11	計画の約8割が80%以上の進捗状況であったが、「見直し」と判断された計画が1件あった。
				35.7%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	7.1%	78.6%	
			2018	4	6	2	1	1	0	0	12	計画の8割以上が60%以上の進捗状況であった。
				28.6%	42.9%	14.3%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	85.7%	
			2019	4	8	1	1	0	0	0	13	計画の9割以上が60%以上の進捗状況であった。
				28.6%	57.1%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	92.9%	
			2020	4	10	0	0	0	0	0	14	全ての計画が80%以上の進捗状況であった。
				28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	



□重点項目 3. 研究活動活性化

■全体総括

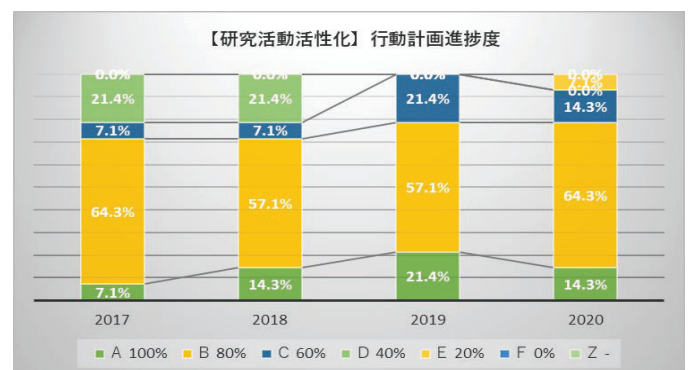
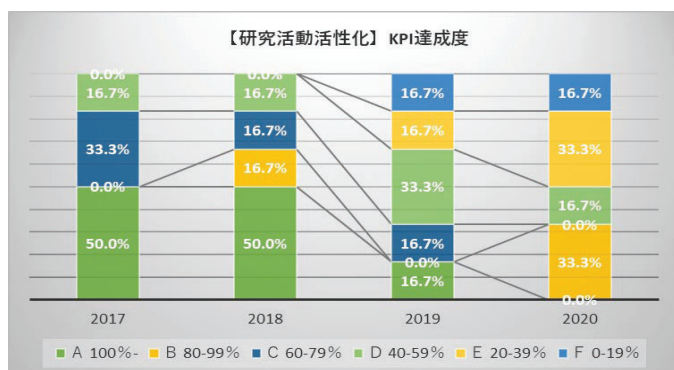
第1期中期計画開始時に、事務局に研究支援課、関係会議体として研究推進委員会(のち産学官・地域連携委員会)、研究推進運営委員会(のち研究推進委員会)を設置し、研究活動を推進する体制を整備した。また、これに先駆けて2016年度に私立大学研究ブランディング事業に採択されたことで、この間、全学的に研究活動の活性化が進んだといえる。しかしながら、ブランディング事業の廃止、コロナ禍によるオンライン授業への迅速な対応が必要になるなどの社会情勢に影響され、2019～2020年度は研究活動を思うように行うことができず、科研費や受託研究・共同研究などの外部研究資金の獲得は、計画通りには進まなかった。
2017年度は、KPIの半数(3件)がA評価であったが、最終の2020年度には、D評価以下が7割(4件)であった。

■第1期中期計画 重要業績評価指標(KPI) 進捗状況

No.	重点項目	KPI数	評価 年度	A	B	C	D	E	F	C以上の 達成度	概要
				100%-	80-99%	60-79%	40-59%	20-39%	0-19%		
3	研究活動 活性化	6	2017	3	0	2	1	0	0	5	KPIの半数はA評価であった。
				50.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	83.3%	
			2018	3	1	1	1	0	0	5	KPIの半数はA評価であった。
				50.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	83.3%	
			2019	1	0	1	2	1	1	2	C評価以上が3割、D評価が2件、 E・F評価が各1件あった。
				16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	33.3%	
			2020	0	2	0	1	2	1	2	C評価以上が3割、D評価が1件、E 評価が2件、F評価1件であった。
				0.0%	33.3%	0.0%	16.7%	33.3%	16.7%	33.3%	

■第1期中期計画 行動計画進捗状況

No.	重点項目	行動計 画数	評価 年度	A	B	C	D	E	F	Z	60%以 上の進 捗度 の比 率	概要
				100% 第5 段階	80% 第4 段階	60% 第3 段階	40% 第2 段階	20% 第1 段階	0% -	-		
3	研究活動 活性化	14	2017	1	9	1	3	0	0	0	11	計画の約8割が60%以上 の進捗状況であった。
				7.1%	64.3%	7.1%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	78.6%	
			2018	2	8	1	3	0	0	0	11	計画の約8割が60%以上 の進捗状況であった。
				14.3%	57.1%	7.1%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	78.6%	
			2019	3	8	3	0	0	0	0	14	全ての計画が60%以上の 進捗度であった。
				21.4%	57.1%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
			2020	2	9	2	0	1	0	0	13	計画の約9割が60%以上 の進捗状況であった。
				14.3%	64.3%	14.3%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	92.9%	



□重点項目 4. 国際化推進

■全体総括

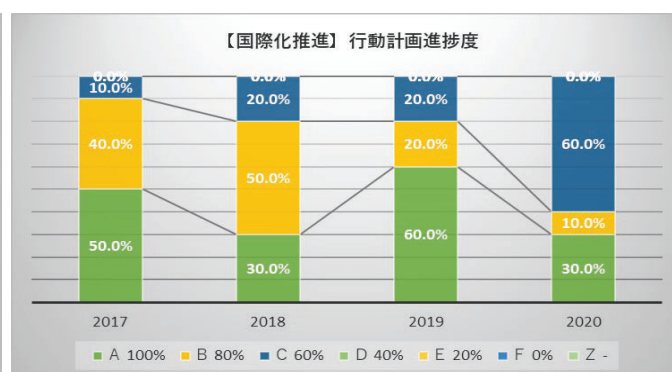
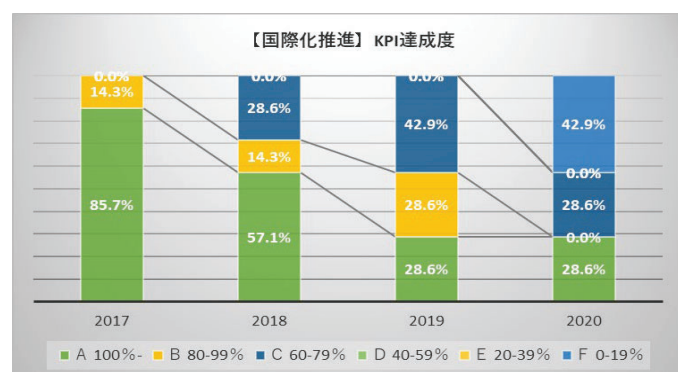
・第1期中期計画は2017年度のスタートから関係委員会及び関係部署において目標及びその進捗状況を確認のうえ、概ね良好であったが、最終年度である2020年は新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響は大きく、多くの項目において目標を達成することが困難であった。
・第2期中期計画においても新型コロナウイルス感染症の影響は継続しているが、代替措置を適時講じるなど影響を最小化し、終息後にはKPI及び行動計画目標に則り国際化を一層推進する。

■第1期中期計画 重要業績評価指標(KPI) 進捗状況

No.	重点項目	KPI数	評価 年度	A	B	C	D	E	F	C以上の 達成度	概要
				100%-	80-99%	60-79%	40-59%	20-39%	0-19%		
4	国際化推進	7	2017	6	1	0	0	0	0	7	ほぼ、全てのKPIを達成した。
				85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
			2018	4	1	2	0	0	0	7	全ての項目がC評価以上の達成であった。
				57.1%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
			2019	2	2	3	0	0	0	7	全ての項目がC評価以上の達成であった。
				28.6%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
			2020	2	0	2	0	0	3	4	C評価以上が4件、F評価が3件であった。
				28.6%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%	

■第1期中期計画 行動計画進捗状況

No.	重点項目	行動計画数	評価 年度	A	B	C	D	E	F	Z	60%以上の進捗度の比率	概要
				100% 第5段階	80% 第4段階	60% 第3段階	40% 第2段階	20% 第1段階	0% -	-		
4	国際化推進	10	2017	5	4	1	0	0	0	0	10	全ての計画が60%以上の進捗度であり、計画の5割は100%の進捗であった。
				50.0%	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
			2018	3	5	2	0	0	0	0	10	全ての計画が60%以上の進捗度であり、計画の8割は80%の進捗であった。
				30.0%	50.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
			2019	6	2	2	0	0	0	0	10	全ての計画が60%以上の進捗度であり、計画の8割は80%の進捗であった。
				60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
			2020	3	1	6	0	0	0	0	10	全ての計画が60%以上の進捗状況であった。
				30.0%	10.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	



□重点項目 5. 地域・産学官連携推進・ネットワーク強化

■全体総括

地域・産学官連携に関しては、2018年度に事務局に産学官・地域連携推進部を置き、委員会組織は全学委員会として産学官・地域連携委員会を設置し、その下に研究推進委員会及び地域連携委員会を配置して、地域・産学官連携活動を推進する体制を整備した。コロナ禍で活動が制限された2020年度を除き各年度で全てのKPIを達成した。個々の行動計画においては、達成できなかった事項もあり、今後の活動活性化に向けて人員配置等も含めて更なる組織体制整備を行っていく。

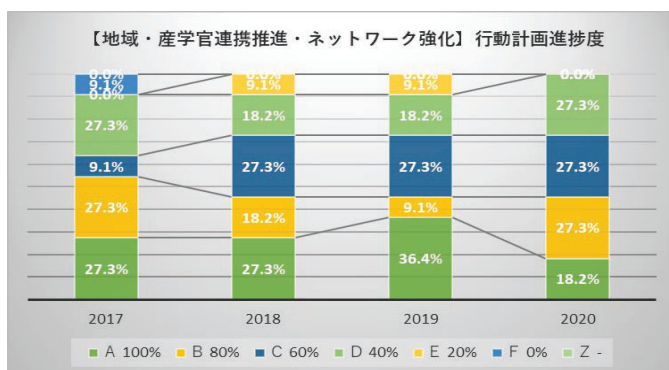
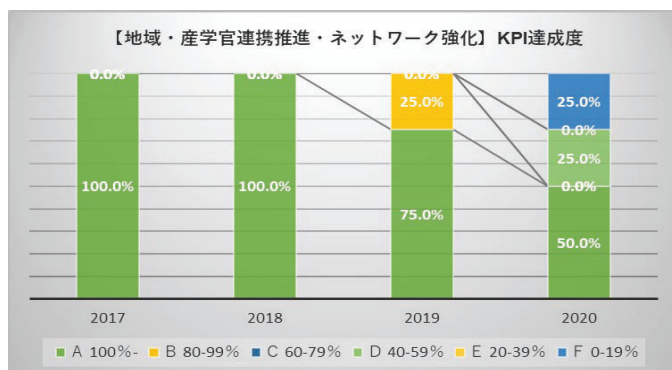
また、ネットワーク強化については、保護者との連携において保護者懇談会開催時期の変更及び送付資料の見直しによる提供情報の充実、保護者連絡票や保護者のための教育講演会の内容等の見直しを行い、概ね計画に基づき活動することができた。卒業生・同窓会との連携は、継続的に行ってきた活動に留まっているため、全学同窓会を中心として更なる協力・支援体制構築に取り組むものである。

■第1期中期計画 重要業績評価指標(KPI) 進捗状況

No.	重点項目	KPI数	評価 年度	A	B	C	D	E	F	C以上の 達成度	概要
				100%-	80-99%	60-79%	40-59%	20-39%	0-19%		
5	地域・産学官 連携推進・ ネットワーク 強化	4	2017	4	0	0	0	0	0	4	全てのKPIを達成した。
				100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
			2018	4	0	0	0	0	0	4	全てのKPIを達成した。
				100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
			2019	3	1	0	0	0	0	4	ほぼ、全てのKPIを達成した。
				75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
			2020	2	0	0	1	0	1	2	A評価が2件であったが、D・F評価が各1件あった。
				50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%	

■第1期中期計画 行動計画進捗状況

No.	重点項目	行動計画 数	評価 年度	A	B	C	D	E	F	Z	60%以上 の進捗度 の比率	概要
				100% 第5 段階	80% 第4 段階	60% 第3 段階	40% 第2 段階	20% 第1 段階	0% -	-		
5	地域・産学官 連携推進・ ネットワーク 強化	11	2017	3	3	1	3	0	1	0	7	60%以上の進捗度が6割 となっており、進捗度0% の計画が1件あった。
				27.3%	27.3%	9.1%	27.3%	0.0%	9.1%	0.0%	63.6%	
			2018	3	2	3	2	1	0	0	8	計画の7割以上が60%以上 の進捗状況であった。
				27.3%	18.2%	27.3%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	72.7%	
			2019	4	1	3	2	1	0	0	8	計画の7割以上が60%以上 の進捗状況であった。
				36.4%	9.1%	27.3%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	72.7%	
			2020	2	3	3	3	0	0	0	8	計画の7割以上が60%以上 の進捗状況であった。
				18.2%	27.3%	27.3%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	72.7%	



□重点項目 6. 入学者確保

■全体総括

3つある重要業績評価指標(KPI)のうち、①資料請求数については、毎年度A評価をキープすることができた。②オープンキャンパス参加者数については、2017年度から2019年度にかけて、856人→917人→1,113人と参加者数自体は伸びを見せたものの、毎年増加する年度目標(1,000人→1,400人→1,800人)には追い付かず、2017年度のB評価から2018年度及び2019年度のC評価へと下がった。さらに、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン型オープンキャンパスを実施したことから、参加者も945人に減少し、目標値も高かった(2,240人)ことから、D評価となった。③入学志願者目標については、2017年度から2019年度までは、志願者、入学者とも順調に増加し、A評価であったが、2020年度は、コロナの影響のほか、新学科開設準備に伴い、入学定員を厳格に管理しなければならない事情もあり、志願者及び入学者とも減少し、B評価となった。

総括としては、最終年度でD評価が1項目(オープンキャンパス参加者数増加)あった以外は、すべてC以上の評価となっていることから、概ね達成していると評価できる。

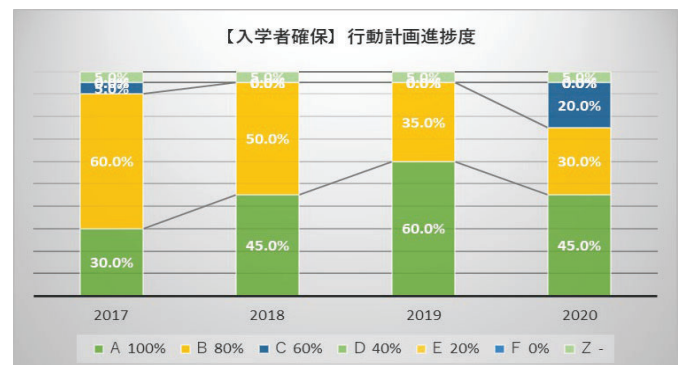
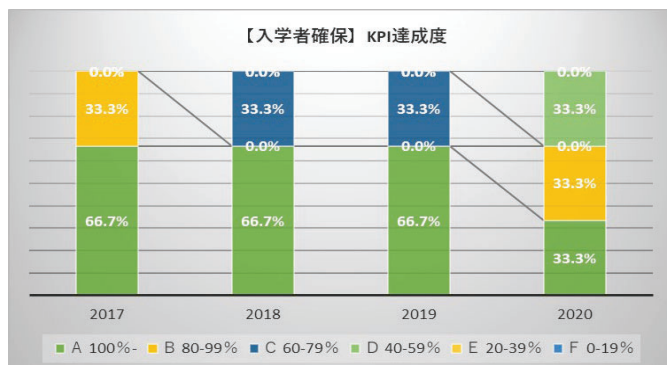
第2期中期計画においても、入学者の確保は大学の生命線であることから、KPI達成に向けて取り組みを継続・促進する。

■第1期中期計画 重要業績評価指標(KPI) 進捗状況

No.	重点項目	KPI数	評価 年度	A	B	C	D	E	F	C以上の 達成度	概要
				100%-	80-99%	60-79%	40-59%	20-39%	0-19%		
6	入学者確保	3	2017	2	1	0	0	0	0	3	ほぼ、全てのKPIを達成した。
				66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
			2018	2	0	1	0	0	0	3	全ての項目がC評価以上の達成であった。
				66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
			2019	2	0	1	0	0	0	3	ほぼ、全てのKPIを達成した。
				66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
			2020	1	1	0	1	0	0	2	C評価以上が2件、D評価が1件であった。
				33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	

■第1期中期計画 行動計画進捗状況

No.	重点項目	行動計画数	評価 年度	A	B	C	D	E	F	Z	60%以上の進捗度の比率	概要
				100% 第5段階	80% 第4段階	60% 第3段階	40% 第2段階	20% 第1段階	0% -	-	-	
6	入学者確保	20	2017	6	12	1	0	0	0	1	19	「見直し」と判断された1件を除き、計画の9割が進捗度80%以上であった。
				30.0%	60.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	95.0%	
			2018	9	10	0	0	0	0	1	19	昨年度「見直し」と判断した計画を除き、全ての計画が80%以上であった。
				45.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	95.0%	
			2019	12	7	0	0	0	0	1	19	「見直し」と判断された1件を除き、計画の6割が進捗度100%以上であった。
				60.0%	35.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	95.0%	
			2020	9	6	4	0	0	0	1	19	「見直し」と判断された1件を除き、全ての計画が60%以上の進捗状況であった。
				45.0%	30.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	95.0%	



□重点項目 7. 経営基盤強化

■全体総括

KPI全4項目のうち、「①経常収支差額の改善」及び「④教育組織の見直し及び再編」について、各年度の目標を達成し、A評価を継続している。他方、「②寄付金獲得金額」及び「③教員人事制度の見直し」については最終年度でC評価以下となった。特に寄付金獲得については3年連続で前年から評価を下げており、第Ⅱ期中期計画においては実効性のある行動計画の下で目標達成を期すものである。

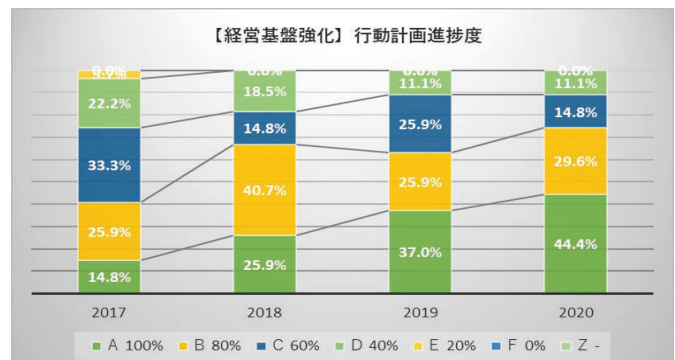
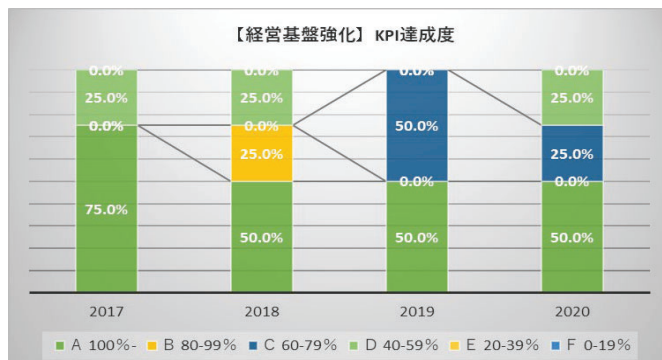
行動計画(全27項目)では、進捗度60%以上の項目の占める割合が年々増しており、B(80%)以上の評価となった項目の割合は2017年度の約40%から2020年度には74%となるなど、一定の成果を得たと評価している。その中で「学長、副学長、学部長、学長補佐の目標管理と業績評価の導入」、「教職員の優れた取り組みを公正に評価する人事考課制度の構築」、「業績評価制度の充実と給与制度の見直し」の3項目が最終年度(2020年度)にD評価となり、第2期中期計画においても継続的に取り組むものである。

■第1期中期計画 重要業績評価指標(KPI) 進捗状況

No.	重点項目	KPI数	評価 年度	A	B	C	D	E	F	C以上の 達成度	概要
				100%-	80-99%	60-79%	40-59%	20-39%	0-19%		
7	経営基盤強化	4	2017	3	0	0	1	0	0	3	D評価1件を除き、KPIを達成した。
				75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	
			2018	2	1	0	1	0	0	3	D評価1件を除き、ほぼKPIを達成した。
				50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	
			2019	2	0	2	0	0	0	4	全ての項目がC評価以上の達成であった。
				50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
			2020	2	0	1	1	0	0	3	A評価が2件であったが、C・D評価が各1件あった。
				50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	

■第1期中期計画 行動計画進捗状況

No.	重点項目	行動計画数	評価 年度	A	B	C	D	E	F	Z	60%以上の進捗度の比率	概要
				100% 第5段階	80% 第4段階	60% 第3段階	40% 第2段階	20% 第1段階	0% -	-	-	
7	経営基盤強化	27	2017	4	7	9	6	1	0	0	20	進捗度60%以上の計画が7割以上となっている。
				14.8%	25.9%	33.3%	22.2%	3.7%	0.0%	0.0%	74.1%	
			2018	7	11	4	5	0	0	0	22	計画の8割以上が60%以上の進捗状況であった。
				25.9%	40.7%	14.8%	18.5%	0.0%	0.0%	0.0%	81.5%	
			2019	10	7	7	3	0	0	0	24	計画の8割以上が60%以上の進捗状況であった。
				37.0%	25.9%	25.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	88.9%	
			2020	12	8	4	3	0	0	0	24	計画の8割以上が60%以上の進捗状況であった。
				44.4%	29.6%	14.8%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	88.9%	



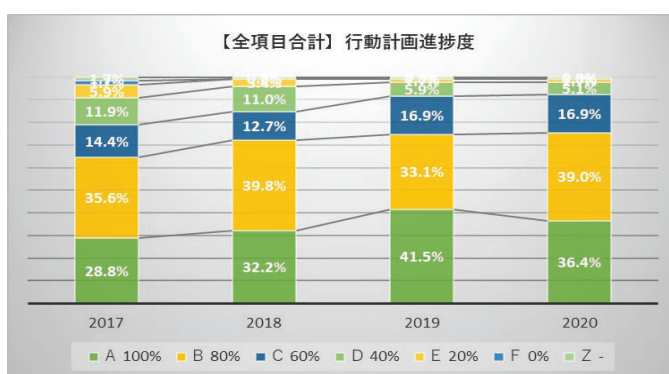
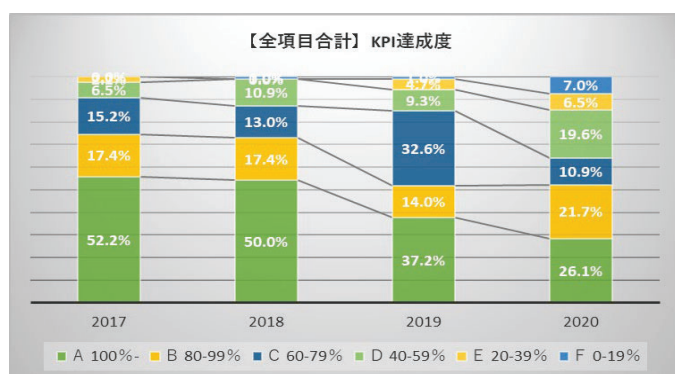
■第1期中期計画 重要業績評価指標(KPI) 進捗状況

総KPI数	KPI数	評価 年度	A	B	C	D	E	F	C以上の 達成度	概要
			100%-	80-99%	60-79%	40-59%	20-39%	0-19%		
		2017	24	8	7	3	1	0	39	総KPI数43項目の内39項目、90.7% がC評価以上の達成度であった。
			52.2%	17.4%	15.2%	6.5%	2.2%	0.0%	84.8%	
		2018	23	8	6	5	0	1	37	総KPI数43項目の内37項目、86.0% がC評価以上の達成度であった。
			50.0%	17.4%	13.0%	10.9%	0.0%	2.2%	80.4%	
		2019	16	6	14	4	2	1	36	総KPI数43項目の内35項目、81.4% がC評価以上の達成度であった。
			37.2%	14.0%	32.6%	9.3%	4.7%	2.3%	83.7%	
		2020	12	10	5	9	3	7	27	総KPI数46項目の内27項目、58.7% がC評価以上の達成度であった。
			26.1%	21.7%	10.9%	19.6%	6.5%	15.2%	58.7%	

※教育改革KPI14項目の内、3項目(医療保健学部国家試験関係)については、2020年度から評価対象

■第1期中期計画 行動計画進捗状況

総行動計画数	行動計画数	評価 年度	A	B	C	D	E	F	Z	60%以上 の進捗度 の比率	概要
			100%	80%	60%	40%	20%	0%	-		
		2017	34	42	17	14	7	2	2	93	総行動計画数118項目の内93項目、 78.8%がC評価(進捗度60% 以上)であった。
			28.8%	35.6%	14.4%	11.9%	5.9%	1.7%	1.7%	78.8%	
		2018	38	47	15	13	4	0	1	100	総行動計画数118項目の内101項目、 85.6%がC評価(進捗度60% 以上)であった。
			32.2%	39.8%	12.7%	11.0%	3.4%	0.0%	0.8%	84.7%	
		2019	49	39	20	7	2	0	1	108	総行動計画数118項目の内109項目、 92.4%がC評価(進捗度60% 以上)であった。
			41.5%	33.1%	16.9%	5.9%	1.7%	0.0%	0.8%	91.5%	
		2020	43	46	20	6	2	0	1	109	総行動計画数118項目の内109項目、 92.4%がC評価(進捗度60% 以上)であった。
			36.4%	39.0%	16.9%	5.1%	1.7%	0.0%	0.8%	92.4%	



第1期中期計画 評価指標、評価基準

■評価指標、評価基準の設定

評価指標、評価基準を設け、第1期中期計画で設定した重要目標達成指標(KGI)、重要業績評価指標(KPI)、行動目標、行動計画を毎年度定点観測を実施することで、各事業が計画どおり進んでいるのか進捗管理を図ることとする。進捗の見られない施策や事業は、早期の段階において、廃止や計画変更等の見直しを行い、選択と集中を図ることにより、事業を推進させる。

■事業推進(進捗管理)にかかる評価

評価	進捗度	種類	進捗段階	概要
A	100%	評価・改善 結果・成果	進捗段階⑤	施策や事業を実施した「結果・成果」が出始め、さらには完了し、「評価及び改善」段階に至っている場合
B	80%	実施展開	進捗段階④	施策や事業が「実施展開」へ移行し、現在進行形で進んでいる場合
C	60%	実施準備・ 環境整備	進捗段階③	施策や事業が意思決定を経て、実行に向けた「実施準備・環境整備」の段階にきている場合
D	40%	意思決定	進捗段階②	施策や事業が「意思決定」段階に至っている場合
E	20%	計画・立案	進捗段階①	施策や事業が「計画・立案」段階に留まっている場合
F	0%	未着手・ 進捗なし	-	施策や事業が「未着手」であり、まったく「進捗なし」の状態にある場合
Z	-	見直し	-	大学を取り巻く環境の変化により、年度計画に不具合が生じて「見直し」が迫られた場合

■KGI、KPI達成度評価

評価	達成度
A	100%以上
B	80%～100%未満
C	60%～80%未満
D	40%～60%未満
E	20%～40%未満
F	0%～20%未満

- 定量的な目標設定の場合は、目標の達成度を算出した上で、左記のとおり評価を行う。
- 定性的な目標設定の場合は、事業推進(進捗管理)にかかる評価を参考とし、左記のとおり評価を行う。

北陸大学 Vision50 (by2025)

学校法人北陸大学

長期ビジョン(50周年ビジョン)・第1期中期計画



長期ビジョン策定の目的

長期ビジョン「2025 年までに学生の成長力No.1の教育を実践する大学となる。」

少子高齢化社会、グローバル社会など、時代を読み解くキーワードはさまざまですが、どのような社会であっても大学はより良き社会の創造に貢献しなければなりません。時代を正しく捉え、常に改善に傾注する人材を輩出することで、その社会に寄与しなければなりません。それは私たちの揺るぎない使命です。

北陸大学は 2015(平成 27)年に創立 40 周年を迎えました。これまで築いてきた伝統を守りつつ、これからの時代を見据えて何を変えていくべきか、社会は何を求めているのか、どのような人材が必要なのか、社会の変化、時代の要請を考え、2017(平成 29)年度より新しい教育体制へシフトしました。

そして、創立 50 周年である 2025(平成 37)年に向け、さらなる飛躍を遂げるために大切なことは「本物の教育力を持った大学になる」ということです。学生一人ひとりへのきめ細やかな教育により育て上げ、最後は社会が欲する人材として巣立つようにする。これが私たちの存在意義と捉え、2025 年に本学は「学生の成長力No.1の教育を実践する大学となる」という長期ビジョン「北陸大学 Vision50 (by2025)」を策定しました。

この長期ビジョンを具現化するためには、法人と大学が一体となり、共通の現状認識に基づく一致した基本政策の策定及び推進が重要であることから、今後取り組むべく施策を第1期中期計画としてまとめました。

地域・社会に求められる大学であり続けるために、本学は「学生の成長力No.1の大学になる」という目標に向かって変革に挑んでまいります。

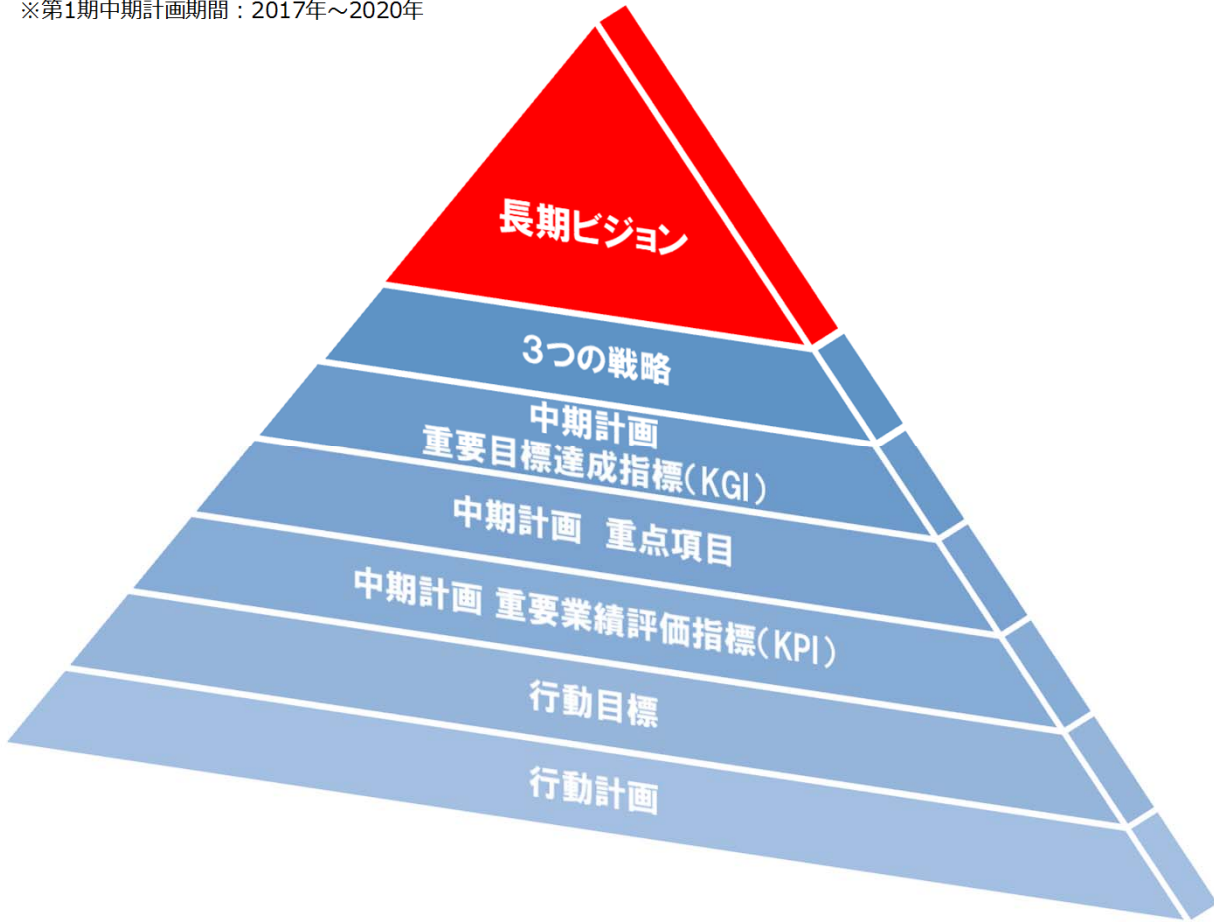
理事長・学長 小倉 勤

目 次

長期ビジョン策定の目的	1
学校法人北陸大学 長期ビジョン・第1期中期計画概念図	3
学校法人北陸大学 長期ビジョン・第1期中期計画重点項目概要	4
法人・大学の理念・目的	7
長期ビジョン・中期計画策定体制	8



■長期ビジョン・中期計画の体系図
※第1期中期計画期間：2017年～2020年



学校法人北陸大学 長期ビジョン・第1期中期計画 重点項目概要

重点項目	重要業績評価指標(KPI)	行動目標	行動計画
1. 教育改革	①薬剤師国家試験合格率（新卒） ②薬学部1年次留年・退学率 ③医療保健学部1年次留年率 ④経済経営学部（編入留学生除く）退学率 ⑤公務員採用試験合格者（新卒） ⑥2＋2留学生大学院進学率 ⑦TOEIC750点以上取得者（日本人） ⑧中国語検定試験2級以上又はHSK5級（210点）取得者（日本人） ⑨日商簿記3級取得者（日本人1・2年次生） ⑩日商簿記2級取得者（日本人3・4年次生） ⑪教員採用試験合格者（新卒） ⑫臨床検査技師国家試験合格率（新卒） ⑬臨床工学技士国家試験合格率（新卒） ⑭ダブルライセンス（検査・工学）合格率（新卒）	(1) 3つのポリシー（DP:ディプロマ・ポリシー） （CP:カリキュラム・ポリシー（AP:アドミッション・ポリシー）の明確化と実質化	①3つのポリシーを点検・評価する体制整備と外部団体の参画 ②学修成果の調査・測定の導入や学修ポートフォリオの活用 ③大学全体としての共通の評価方針（アセスメント・ポリシー）の確立
		(2) カリキュラム・ポリシー（CP）に基づいた学力の保証	①カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーの策定及びナンバリングの実施 ②教育効果を高める密度の高い教育を実現するための授業科目の再編・統廃合及び授業時間割の見直し並びに配置科目数の削減を含めた適正化 ③組織的な教育を実現するための仕組みの構築 ④成績評価の信頼性及び妥当性の確保
		(3) 初年次教育と教養教育の再構築	①全学リメディアル教育の導入と充実化 ②全学共通教養（一般）科目の整備 ③習熟度別クラス・少人数クラスの設定 ④学習支援センター設置 ⑤入学前教育、フレッシュマンセミナー、基礎ゼミナールなどの順次的・体系的な実施 ⑥ピアサポート、チューデント・アシスタント（SA）等の質向上や活用
		(4) 学生の能動的な学修を促すための取り組みと教育力及び教育の質向上	①全科目のアクティブ・ラーニング型授業への転換と学外の組織と連携したアクティブ・ラーニング型授業の全学的な実施 ②SAによるサポート体制の充実とピアサポートの拡充 ③学生アンケートなどの有効活用 ④シラバスの充実と記載内容のチェック体制の構築 ⑤FD活動への学生の参加を含めた教員・職員・学生が一体となった教育改善 ⑥SDの実施計画の策定と実施 ⑦教育研究施設の改善（学生と教員が集う教育研究棟の整備と事前・事後学修を支援する環境の整備） ⑧教育資材・材料の開発及びそれらを活用した授業の運営 ⑨学生及び教職員のICT活用能力の向上
2. 学生支援	①学生満足度調査による満足度率 ②クラブ・サークル活動への加入率 ③SA・学内ワークスタディ・ピアサポート等の参加率 ④強化クラブの活性化：全クラブ全国大会出場 ⑤進路支援講座等（正課以外のキャリア講座）参加学生数 ⑥国内インターンシップ参加者（日本人） ⑦国内インターンシップ参加者（留学生（ITコース履修留学生除く）） ⑧学内企業セミナー参加企業数	(1) 正課外活動の活性化	①強化指定クラブの施設整備と指導体制の強化 ②文化系クラブの支援及びクラブ活動全般の活性化 ③学友会・学園祭実行委員会組織の強化 ④学内諸活動に積極的に関わる学生数の増加
		(2) キャリア支援の強化	①インターンシップ制度の充実 ②進路支援課・薬学学務課と学部との連携強化 ③公務員養成塾等の資格取得支援体制の強化と学生の参加者数の向上 ④企業訪問、学内企業セミナーなどによる企業との接点強化 ⑤留学生の進路支援の強化
		(3) 学生の成長を促す学生生活支援	①学生相談体制（心身両面）の整備・拡充（担任制度、保健室、キャンパス相談室） ②1年次前期のサポート体制の強化（修学上の不安や悩み、人間関係等による精神的孤立の解消や居場所づくりの支援、学習支援センター設置の検討） ③障がいのある学生への支援体制の構築 ④奨学金制度の利用促進と学内ワークスタディー制度の確立 ⑤自主的な学修を促す環境整備と快適な生活環境の整備
3. 研究活動活性化	①全学的な研究事業の各種補助金の採択件数 ②外部研究資金の獲得金額 ③科学研究費補助金申請率（代表・分担）・新規採択率 ④受託研究・共同研究受入件数 ⑤北陸大学特別助成金（特別研究・教育改革）採択件数 ⑥論文、紀要への投稿、著書の発刊、書籍への執筆、学会（国内外）等での発表件数	(1) 研究成果の社会への発信強化	①研究成果の可視化促進 ②機関リポジトリの活用 ③シンポジウム・研究会の開催 ④紀要の強化
		(2) 研究活動の促進に向けた研究環境整備	①研究推進委員会の強化及び支援部局の整備 ②研究表彰制度の創設 ③補助金制度を活用した計画的な研究設備・施設の充実 ④学内の教員間交流の推進による特別助成金制度の効果的な利用 ⑤全学的な研究事業の構築と優先的予算配分 ⑥研究活動活性化に向けた個人研究費の見直し ⑦サバティカル研修制度の検討
		(3) 科学研究費補助金（外部研究資金）等の申請・採択件数の向上	①外部資金の募集情報の提供、申請、執行、報告などの支援体制の整備 ②科学研究費補助金の採択率向上に向けた学内制度及び研修体制の設計 ③学外研究者との共同研究による研究分担者として採択件数の増加

重点項目	重要業績評価指標(KPI)	行動目標	行動計画
4. 国際化推進	①国際交流プログラム（短期派遣）の拡充 ②海外提携校拡大 ③海外派遣学生数の増加 ④留学生の受入（留学生構成比率） ⑤外国語のみによる授業科目の開設 ⑥外国人教員の増加 ⑦海外インターンシップ参加者	(1) 海外提携校・海外留学・海外研修の拡充によるグローバル人材の育成	①国際交流センターと各学部との緊密な連携による既存プログラムの充実と新しいプログラムの開発を図る ②海外提携校の拡大や国の多様化による海外留学派遣及び留学生受入の促進 ③海外インターンシップの参加を促す仕組みの構築（セミナーや見学等の実施） ④国際コミュニケーション学部生の海外研修全員参加への取り組み促進 ⑤留学生の募集（受入）の促進や魅力ある教育内容及び生活支援の充実
		(2) 海外留学・研修に参加しやすい環境の整備	①語学の自律的学習支援施設の整備及び運営 ②外国語のみによる授業科目（外国語教育以外）の開設 ③各種留学奨学金制度による海外留学の促進 ④海外留学派遣前と派遣後の就職活動支援の強化 ⑤外国人教員の積極的な採用
5. 地域・産学官連携推進・ネットワーク強化	①地域連携プログラムの開発・実践 ②ボランティア活動参加学生数 ③保護者懇談会参加者率 ④公開講座開講数・受講生数	(1) 地域・産学官連携・ネットワーク強化に関する全学的な基本方針の策定	①地域・産学官連携・ネットワーク強化に関する全学的な基本方針の策定
		(2) 地域との連携	①定期的な協議会の実施 ②全学的な地域連携科目の導入 ③学内外のボランティア活動の推進 ④関連団体（職能団体等）と連携した研修会・セミナーの開催
		(3) 保護者との連携	①保護者会の内容充実 ②保護者に対する情報提供の充実
		(4) 卒業生（同窓会）との連携	①同窓会への支援強化 ②卒業生に対する情報提供の充実
		(5) 生涯教育・社会人教育の拡充	①公開講座の充実 ②社会人・高齢者に学び直しの機会の提供
6. 入学者確保	①資料請求数増加 ②オープンキャンパス（ＯＣ）参加者数増加 ③入学志願者目標	(1) 各種接触者の増加	①オープンキャンパス参加者数増加と日程・回数の適正化 ②資料請求者数増加 ③ガイダンス接触者数増加 ④進学説明会参加校数増加 ⑤高校教員接触数増加（高校訪問、進学説明会等） ⑥北陸３県外志願者数増加 ⑦本学ＨＰの充実（ＰＶ増加）と受験サイト・ＯＣサイトの早期公開 ⑧大学案内及び募集要項の充実と早期配布
		(2) 志願者及び入学者の増加	①大学ブランド力向上のためのマスメディア・ＳＮＳ・ブログ等による広報強化 ②オープンキャンパス充実（内容、学生スタッフの質向上） ③入試日程の設定（試験内容、出願期間、試験日、締切日） ④意欲ある質の高い入学生確保に向けた奨学金制度の検討 ⑤入試の共通化と簡素化 ⑥入学前教育の充実と合格者へのアフターケア ⑦非出願者・非入学者へのアンケート調査 ⑧強化指定クラブの成果の積極的な発信 ⑨学力の３要素を踏まえた多面的・総合的に評価する入学者選抜の実施 ⑩多様な背景を持つ受験者を受け入れるための定員枠の設定 ⑪入学者の追跡調査の実施と入試制度・広報への反映 ⑫高大接続の連携強化

重点項目	重要業績評価指標(KPI)	行動目標	行動計画
7. 経営基盤強化	①経常収支差額の改善 ②寄付金獲得金額 ③教員人事制度の見直し ④教育組織の見直し及び再編	(1) 財務基盤の強化	①中長期財務計画の策定
			②寄付金収入の拡大
			③戦略的な補助金申請や外部研究資金の採択強化
			④経費支出の適切な見直し（業務の合理化・効率化、省エネルギー対策）
			⑤人件費の適正化（多様な雇用形態の導入、学部人件費の設定、人員構成の適正化）
			⑥学費・奨学金等の見直し
		(2) 経営ガバナンスの強化	①担当理事制の執行機能体制の強化
			②理事会、評議員会、監事及び常任理事会の役割の明確化と機能の見直し
			③大学教学組織の見直しと意思決定、執行機能体制の強化
			④学長、副学長、学部長、学長補佐の目標管理と業績評価の導入
			⑤危機管理体制の強化
			⑥ I Rと自己点検・評価の強化
			⑦事務組織体制の恒常的な検討
			⑧全学委員会のあり方を見直し
			⑨長中期計画の推進と検証のための体制
			⑩中期計画に連動した事業計画の策定と進捗状況の把握及び計画的な実施
		(3) 教員人事制度と事務職員人事制度の見直し	①多様な雇用形態の導入と見直し
			②教職員の優れた取り組みを公正に評価する人事考課制度の構築
			③専任教員の学部別定数の決定
			④業績評価制度の充実と給与制度の見直し
		(4) 社会のニーズに適応した教育組織の改編	①学部改組、新学部・大学院設置などの新構想の立案
		(5) キャンパス整備	①学修環境や課外活動施設の充実
			②快適な学内環境の充実
			③キャンパスマスタープランの策定・見直し
		(6) ダイバーシティの促進	①多様な人材が活躍できる大学づくり
			②女性・若手教育研究者が活躍できる環境整備
			③女子学生受け入れ体制強化

法人・大学の理念・目的

■建学の精神・教育理念

『自然を愛し 生命を尊び 真理を究める人間の形成』

本学の存在意義は「健康」な社会を形成するに足りる人材の養成に尽きる。健康は、人類が永遠に求め続ける理想像である。本学は、過去、現在、未来も「健康」を担う社会人を養成する大学として地域社会に存在を示して行かなければならない。健康社会実現のために地域に貢献するグローバル人材を育成する。

■大学の使命・目的

『健康社会の実現』

■教育理念を表すタグラインとコミュニケーションマーク

□タグライン

21世紀を生き抜くチカラ。

北陸大学が育み、学生の皆さんにもたらすもの。それは「自ら未来を切り拓く力」です。先の見えない時代を生きていく強さ、知識だけではない「総合的な人間力」を養成する教育の理念を明確に伝え、また印象づけることを最大の目的として、本学で身につける力がこの先の人生すべてに活かされるものであることを表現します。

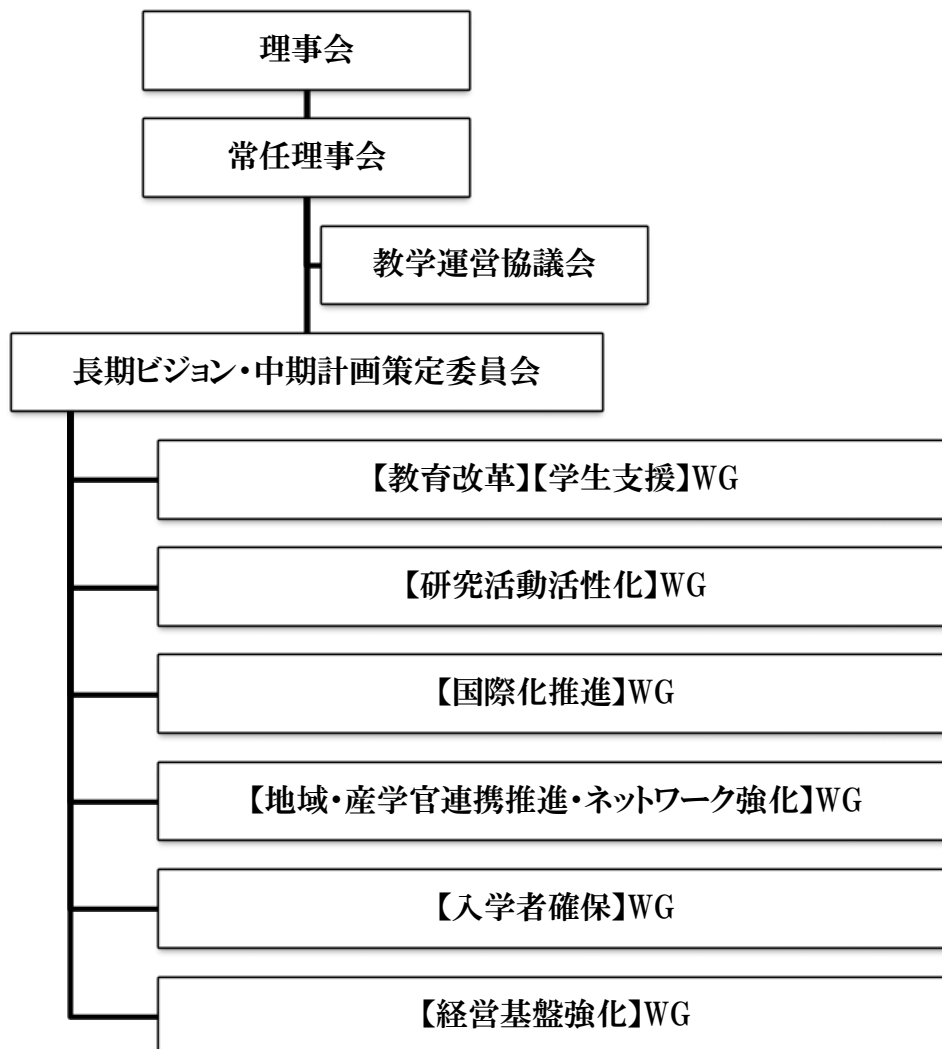
□コミュニケーションマーク



北陸大学の頭文字「H」をモチーフに、「I（私）に力を+（プラス）する教育」を表現しています。カラーリングは従来から本学のコーポレートカラーであった緑を基調として、より若々しく軽やかな印象のライトグリーンとしました。またプラスの部分は「輝き」を連想させるフォルムとし、学生が身につける力の象徴としています。

長期ビジョン・中期計画策定体制

実行力のある計画を立案するために、各重点項目の責任者を理事とし、委員を、5年後、10年後の組織を背負うこととなる世代の教職員を中心に構成した長期ビジョン・中期計画策定委員会を常任理事会の下に設置し、中期計画に基づき、項目毎にアクションプラン(誰が、いつまでに、どのように)を策定するアクションプラン策定ワーキンググループ(WG)を長期ビジョン・中期計画策定委員会の下に設置しました。





21世紀を生き抜くチカラ。

北陸大学

薬学部／薬学科

経済経営学部／マネジメント学科

国際コミュニケーション学部／国際コミュニケーション学科

心理社会学科

医療保健学部／医療技術学科

留学生別科

【企画部】

〒 920-1180 石川県金沢市太陽が丘1-1

TEL: (076) 229-1161 (代表) FAX: (076) 229-1348

<http://www.hokuriku-u.ac.jp>

2022年3月31日